

大船渡湾内観測結果(No.5)

“今月の話題”

湾内の水温は16～25℃台であり、水深2.5mで例年よりも1℃ほど高くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、先月と同程度であり、表層と水深10mが高めとなっています。珊瑚島の北側の海底で溶存酸素が低下傾向です。

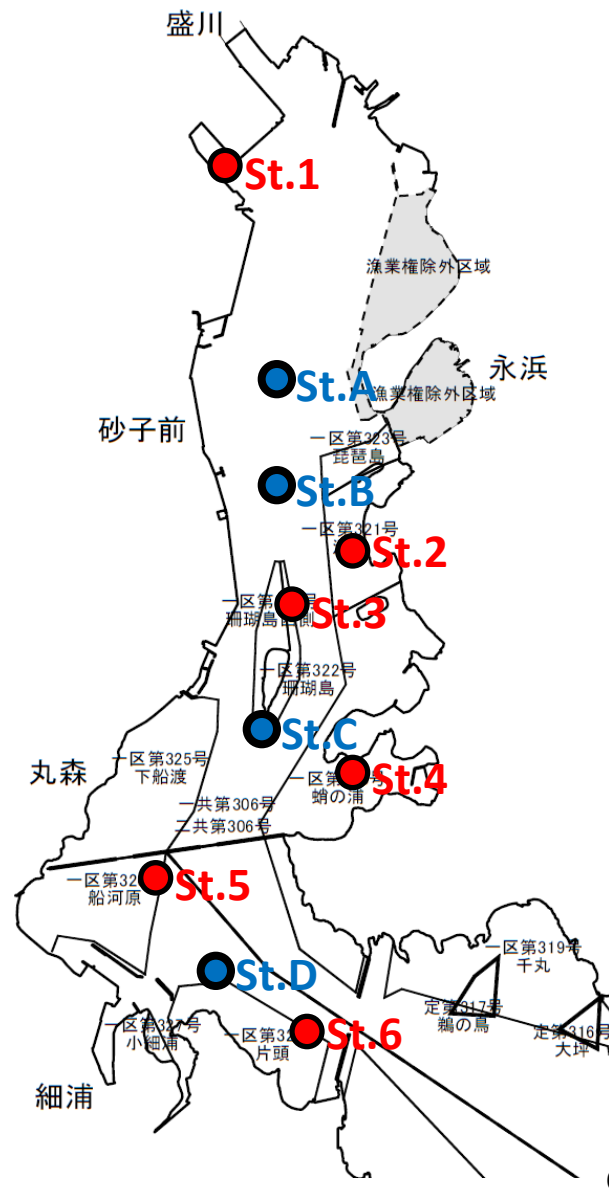
8月22日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は2.0～10.0mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、-2.0～+1.2mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが22.1～22.3℃、水深10mが19.8～20.5℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが+0.7～+1.1℃、水深10mが±0.0～+0.9℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年8月22日					
観測時刻		11:24	11:48	11:02	10:39	10:21	9:57
天候		晴					
気温(°C)		30.1					
風向		SSE					
風力		2					
水深(m)		8.8	24.1	26.7	18.6	24.8	36.3
透明度(m)		2.0	8.0	5.0	10.0	7.0	7.0
水色		11	10	10	10	9	9
水温(°C)	表層0m	25.2	25.9	25.6	25.2	25.0	24.3
	水深2.5m	22.1	22.3	22.2	22.2	22.3	22.2
	水深10m	-	20.5	20.1	20.2	20.0	19.8
	海底上1m	20.2	16.7	16.5	17.6	17.1	16.1
塩分	表層0m	23.5	25.2	24.5	27.7	27.2	28.6
	水深2.5m	32.4	32.8	32.6	33.0	32.7	32.6
	水深10m	-	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
	海底上1m	33.4	33.8	33.8	33.7	33.8	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	153.9	130.8	152.7	123.4	132.8	125.0
	水深2.5m	150.5	118.1	124.1	105.7	116.9	120.4
	水深10m	-	109.7	100.4	101.8	104.6	103.5
	海底上1m	73.8	52.4	44.8	80.3	76.7	81.4
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	4.1	1.4	4.2	1.5	2.0	1.2
	水深2.5m	7.0	0.7	1.0	0.6	1.0	0.9
	水深10m	-	1.2	3.8	1.9	1.4	1.0
	海底上1m	3.4	0.7	0.4	1.2	0.6	0.4



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

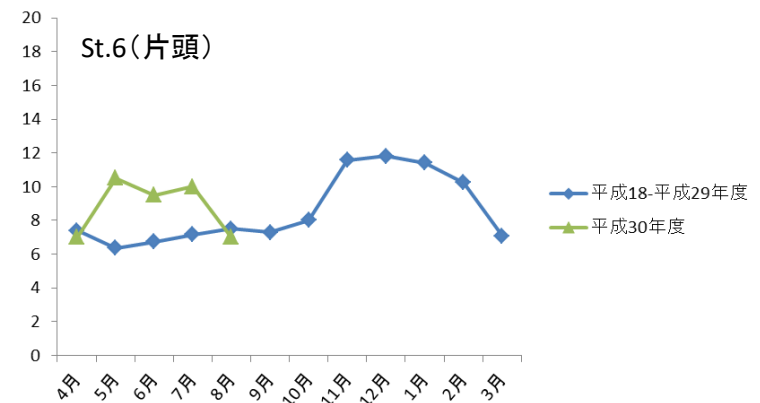
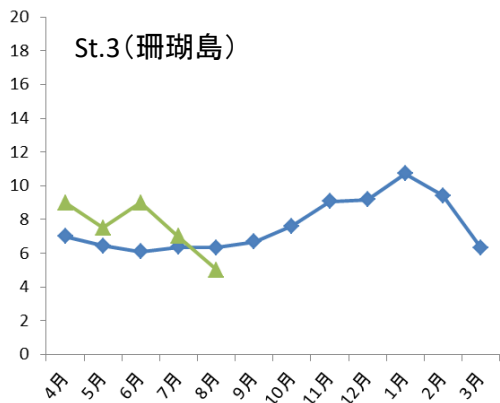
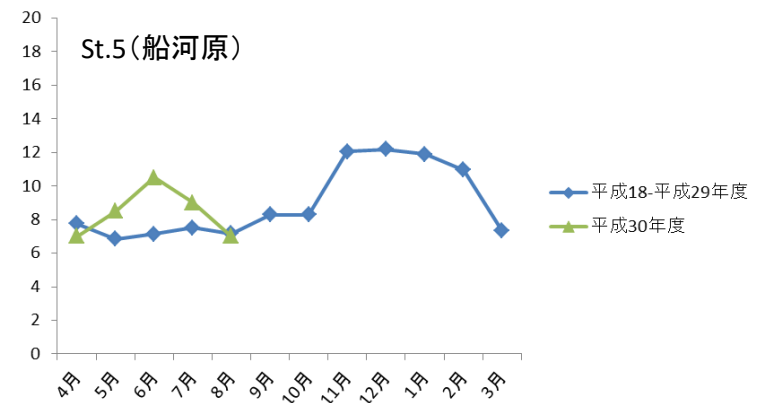
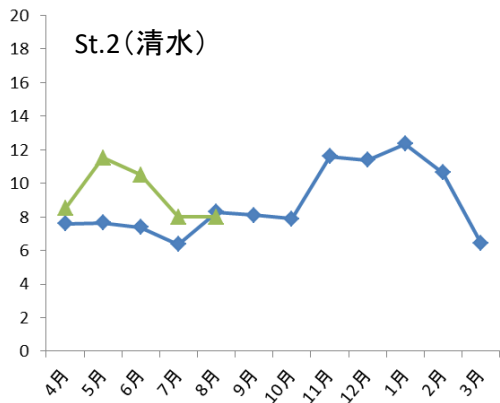
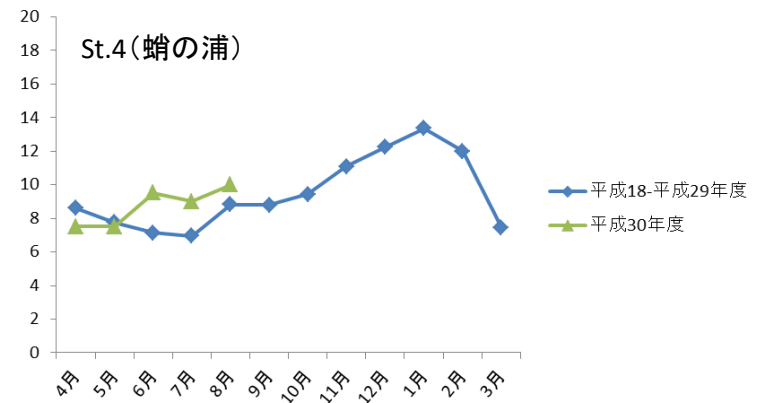
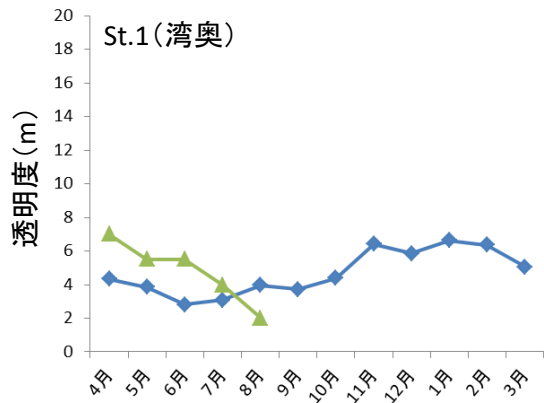


図2 透明度の推移

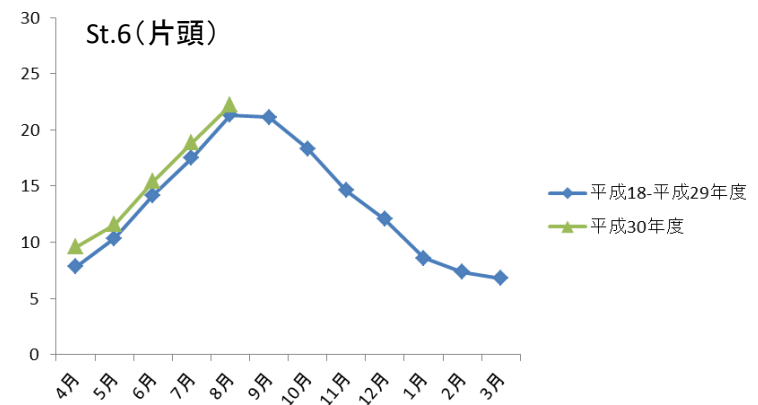
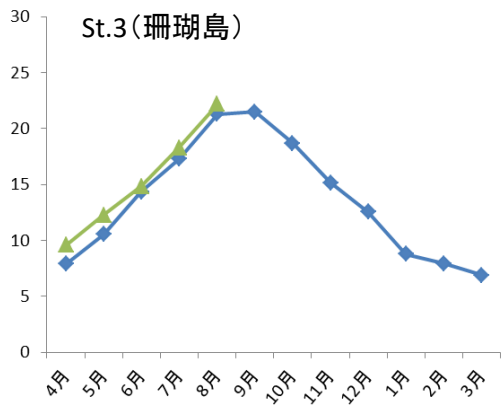
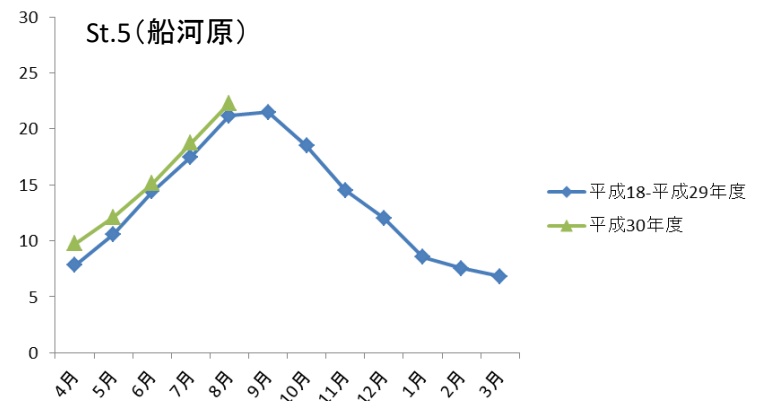
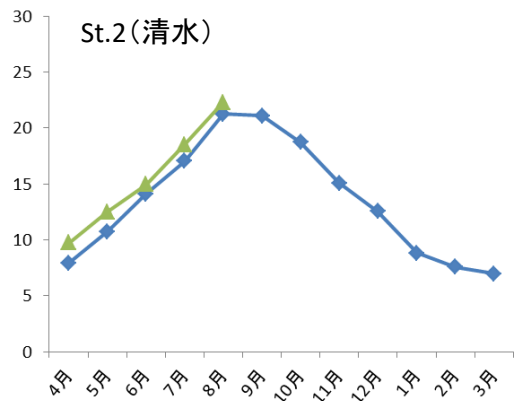
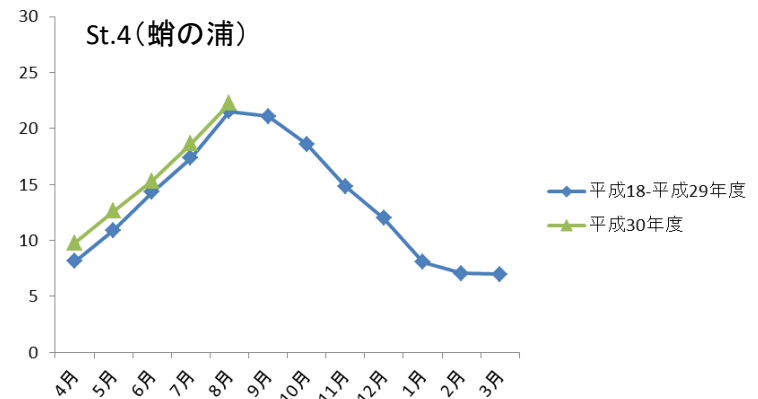
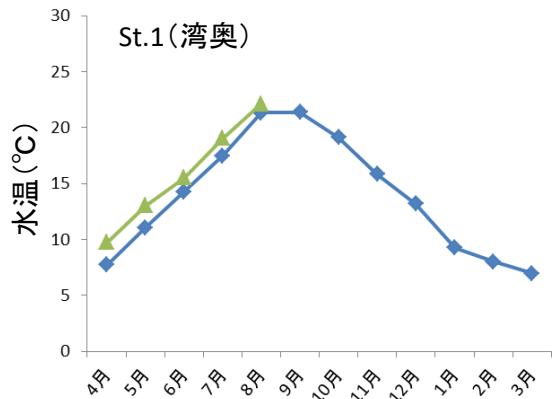


図3 水深2.5mの水温の推移

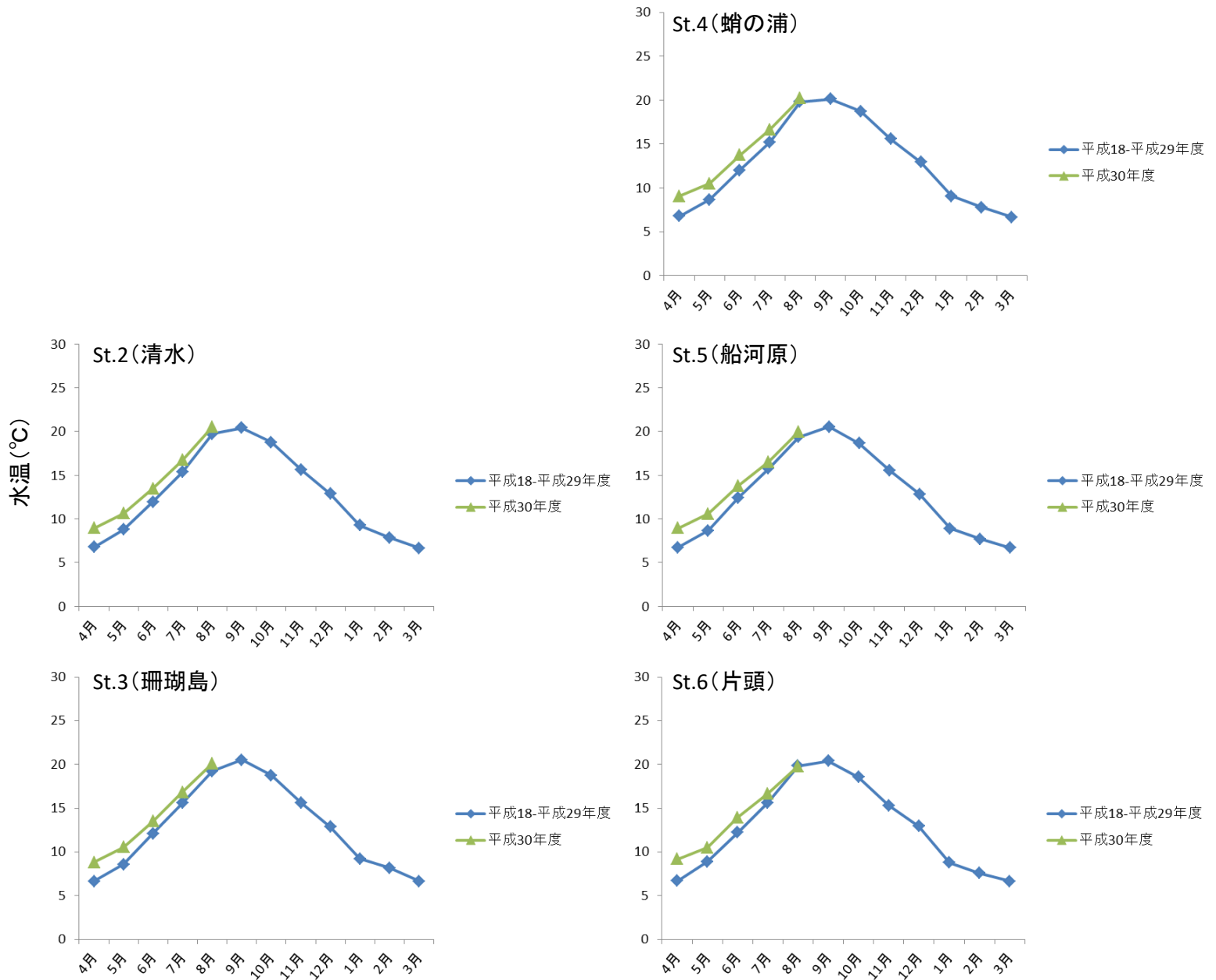
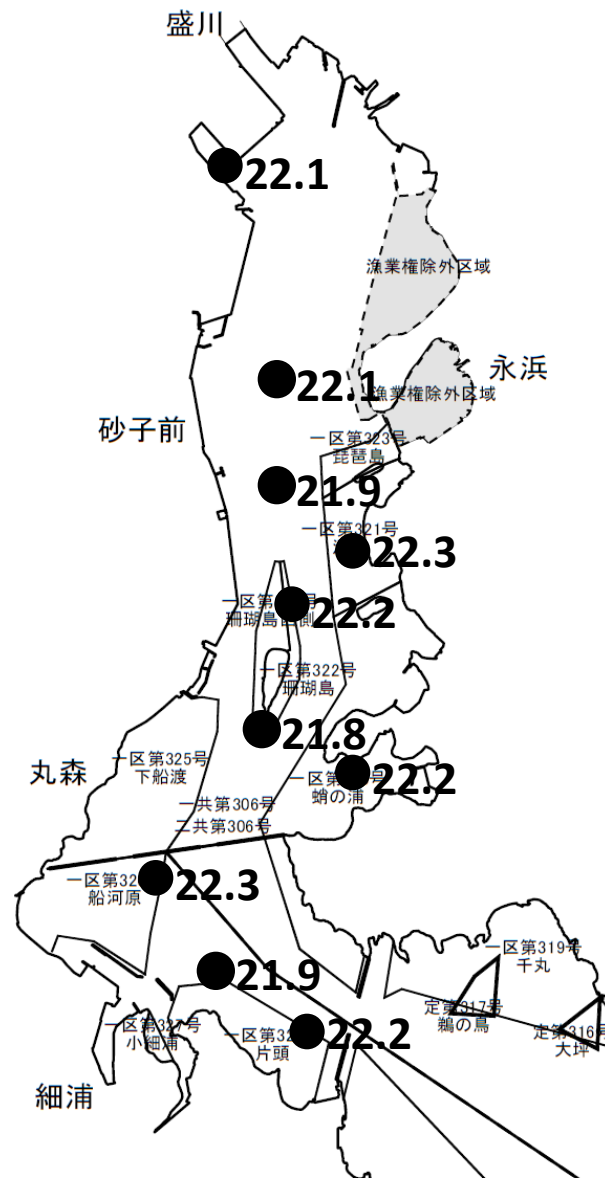


図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

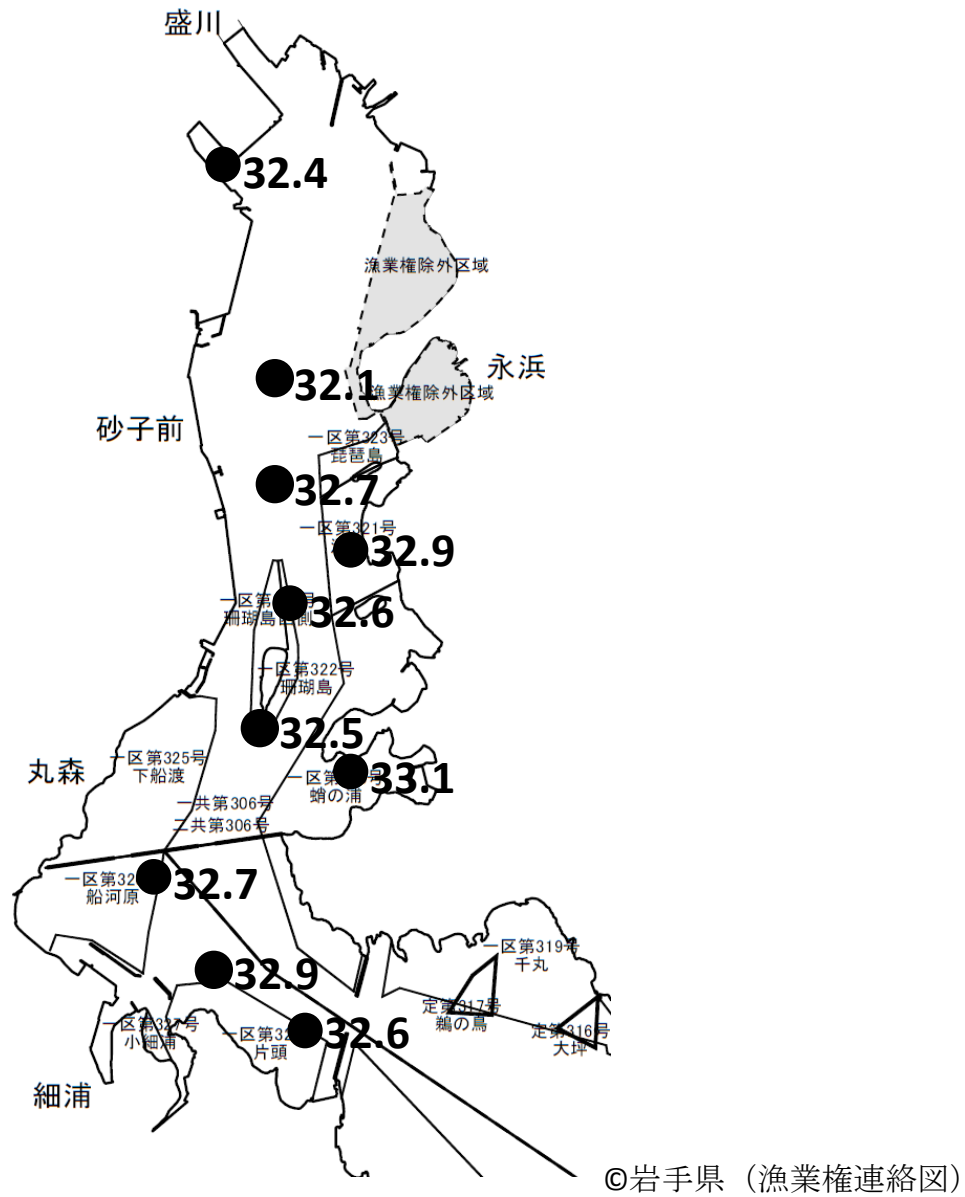


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

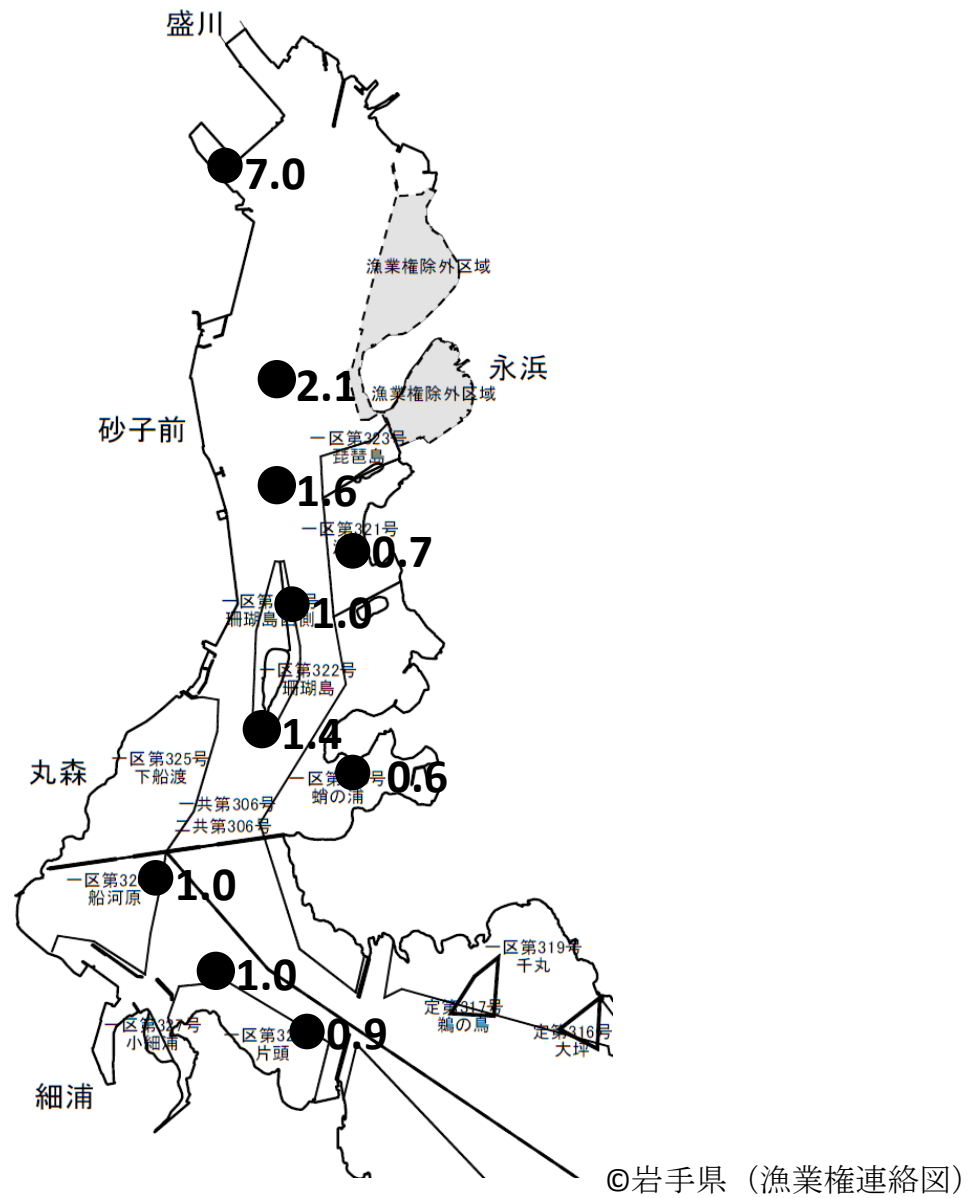


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。